

II 相談状況

令和4年度の相談受付件数は7,971件(前年度7,703件)で前年度比103.5%である。

相談種別で最も多いのは養護相談3,616件で、そのうち児童虐待相談が2,714件(養護相談全体の75.06%)である。

次いで障害相談が3,396件、うち知的障害相談が3,313件(障害相談全体の97.56%)となっている。

経路別受付の状況は市町村(福祉事務所も含む)、家族・親戚からのものが大多数である。

(図2参照)

また、処理別状況は助言指導が5,263件(面接指導件数の90.85%)と圧倒的に多く、

児童施設入所・通所は92件(総処理件数の1.2%)となっている。(図3参照)

図1 相談別受付件数

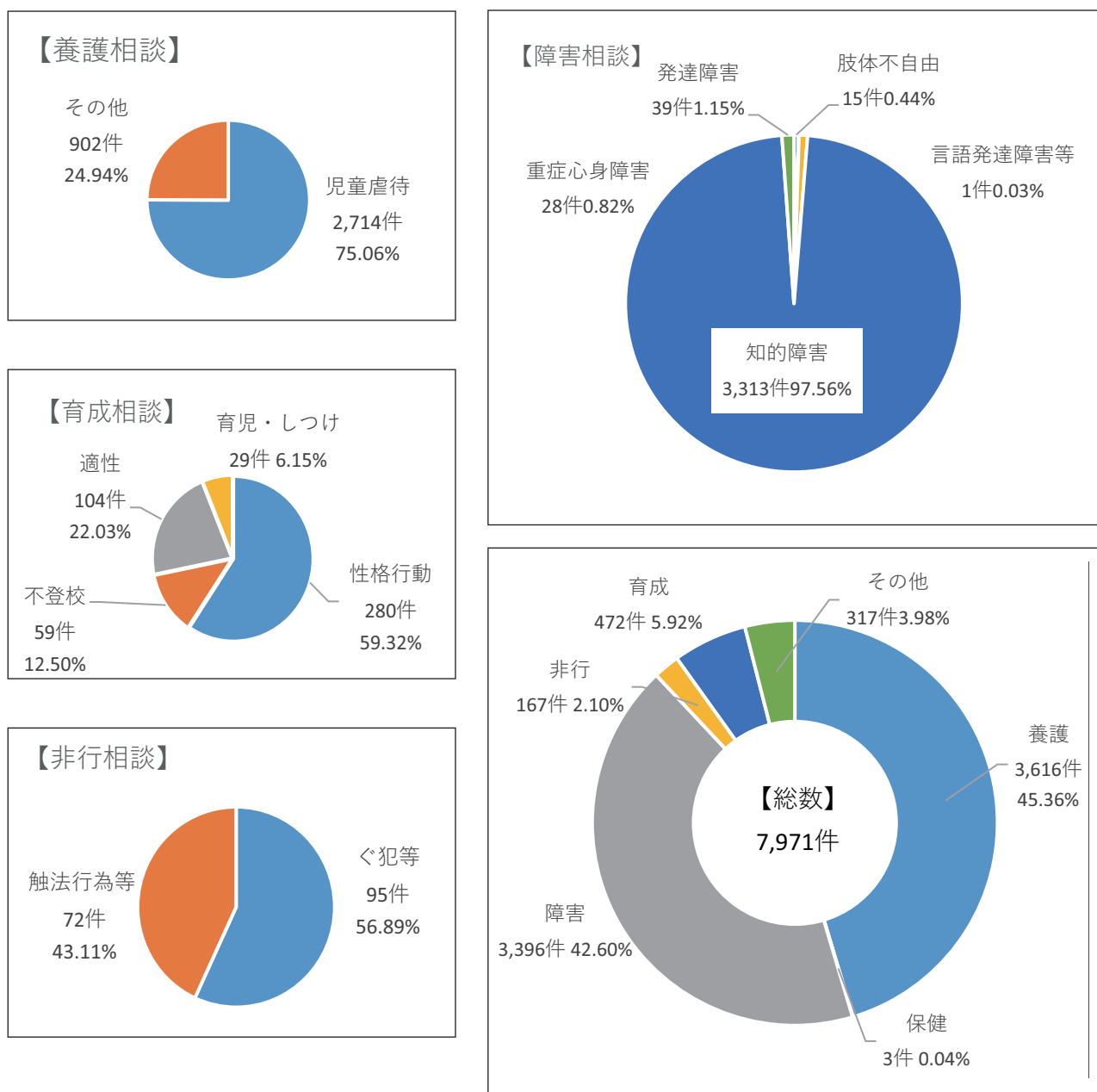


表1 相談種類別受付状況

	中央		西濃		中濃		東濃		飛騨		計		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
養護	児童虐待	1,269	35.64	471	33.69	584	39.25	276	26.85	114	22.98	2,714	34.05
	その他	421	11.82	242	17.31	116	7.80	63	6.13	60	12.10	902	11.32
	保健相談	2	0.06	0	0.00	0	0.00	1	0.09	0	0.00	3	0.04
障害	肢体不自由	6	0.17	5	0.36	2	0.13	2	0.19	0	0.00	15	0.19
	視聴覚障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	言語発達障害等	0	0.00	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.01
	重症心身障害	14	0.39	7	0.50	7	0.47	0	0.00	0	0.00	28	0.35
	知的障害	1,419	39.85	486	34.76	608	40.86	548	53.31	252	50.81	3,313	41.56
	発達障害	6	0.17	3	0.22	4	0.27	24	2.33	2	0.40	39	0.49
非行	ぐ犯等	45	1.26	21	1.50	15	1.01	11	1.07	3	0.60	95	1.19
	触法行為等	41	1.15	16	1.15	8	0.54	7	0.68	0	0.00	72	0.90
育成	性格行動	126	3.54	53	3.79	46	3.09	26	2.53	29	5.85	280	3.51
	不登校	6	0.17	20	1.43	10	0.67	11	1.07	12	2.42	59	0.74
	適性	53	1.49	39	2.79	11	0.74	1	0.10	0	0.00	104	1.31
	育児・しつけ	9	0.25	5	0.36	9	0.60	5	0.49	1	0.20	29	0.36
	その他	144	4.04	29	2.07	68	4.57	53	5.16	23	4.64	317	3.98
	計	3,561	100.0	1,398	100.0	1,488	100.0	1,028	100.0	496	100.0	7,971	100.0
	前年度計	3,246		1,307		1,546		1,098		506		7,703	
	前年度比(%)	109.7		107.0		96.2		93.6		98.0		103.5	

図2 経路別受付件数

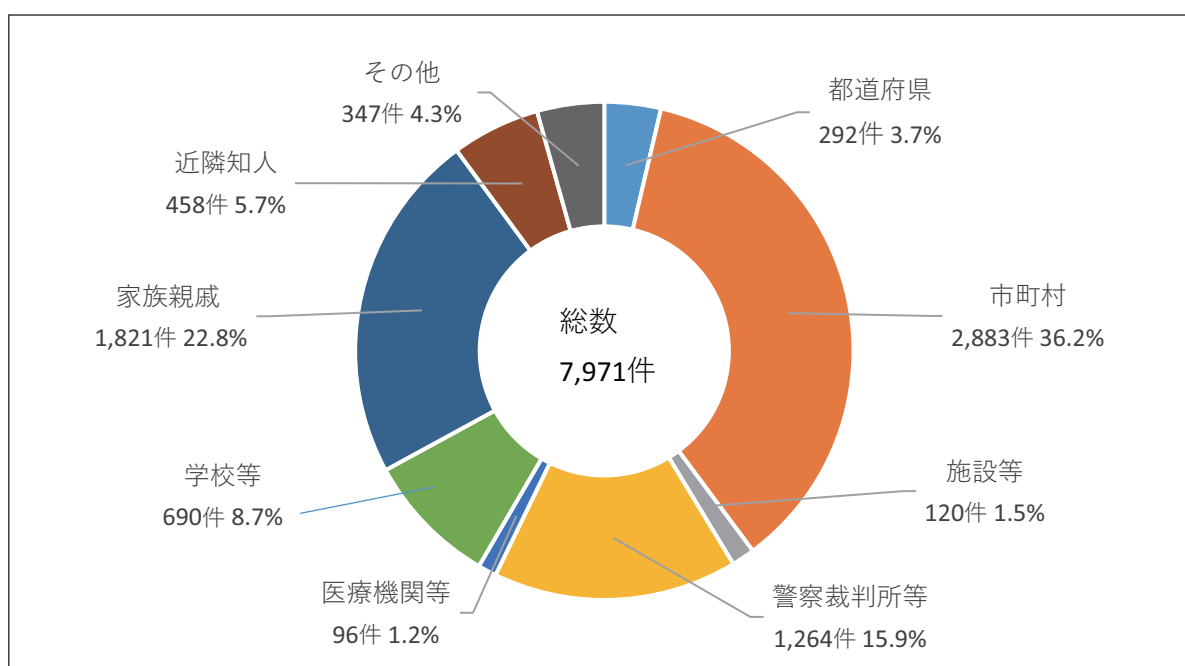
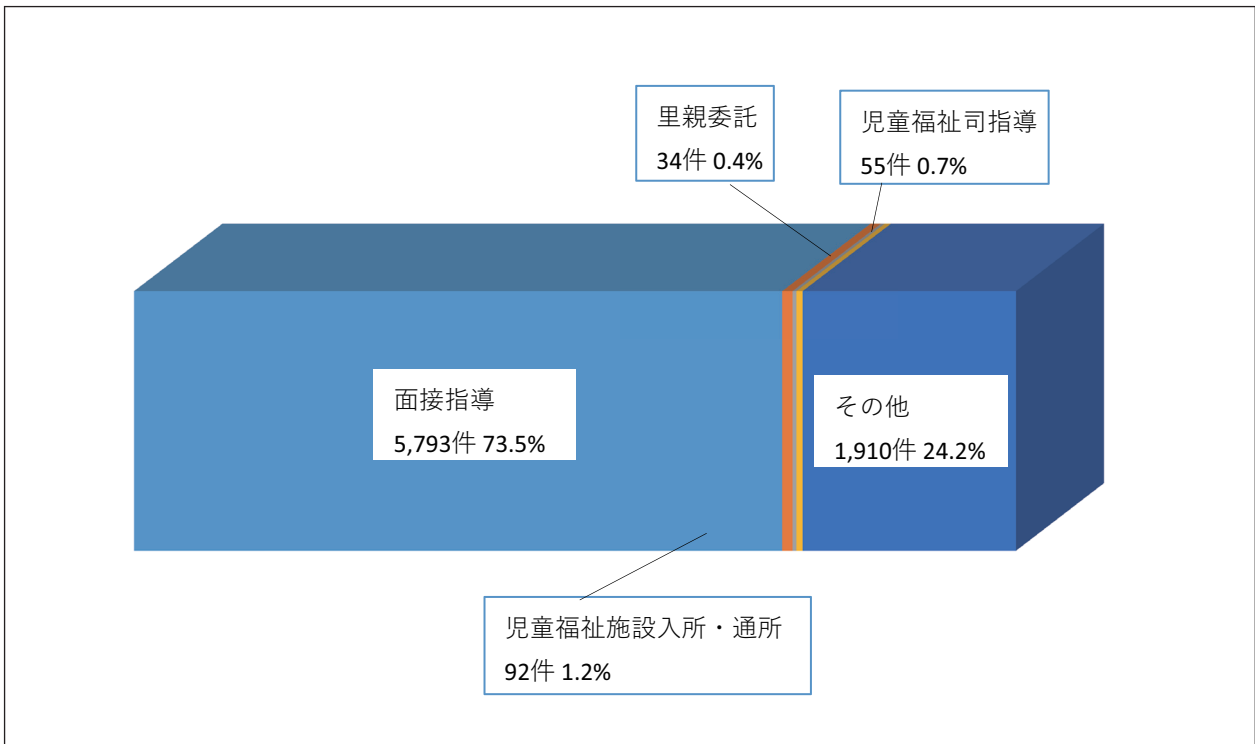


図3 処理別件数 【処理件数7,884件の内訳】



【面接指導5,793件の内訳】

助言指導	5,263	90.85%
継続指導	440	7.60%
他機関あっせん	90	1.55%

【その他1,910件の内訳】

児童委員指導	0	0%
児童家庭支援センター委託	20	1.05%
市町村送致	84	4.40%
福祉事務所送致	59	3.09%
訓戒・誓約	46	2.41%
指定医療機関委託	0	0%
家庭裁判所送致	2	0.10%
障害児施設への利用契約	24	1.26%
その他	1,675	87.69%

図4 年度別・相談種類別受付件数の推移(保健相談は『その他』に含む)

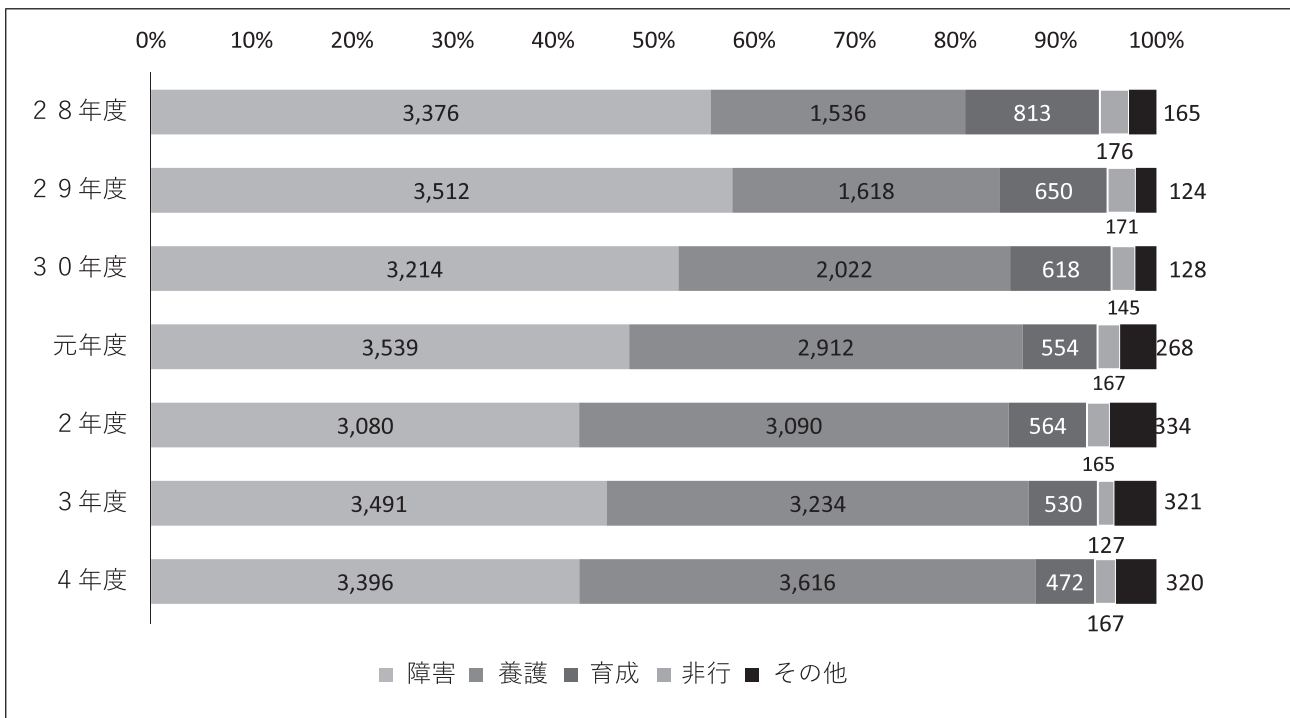
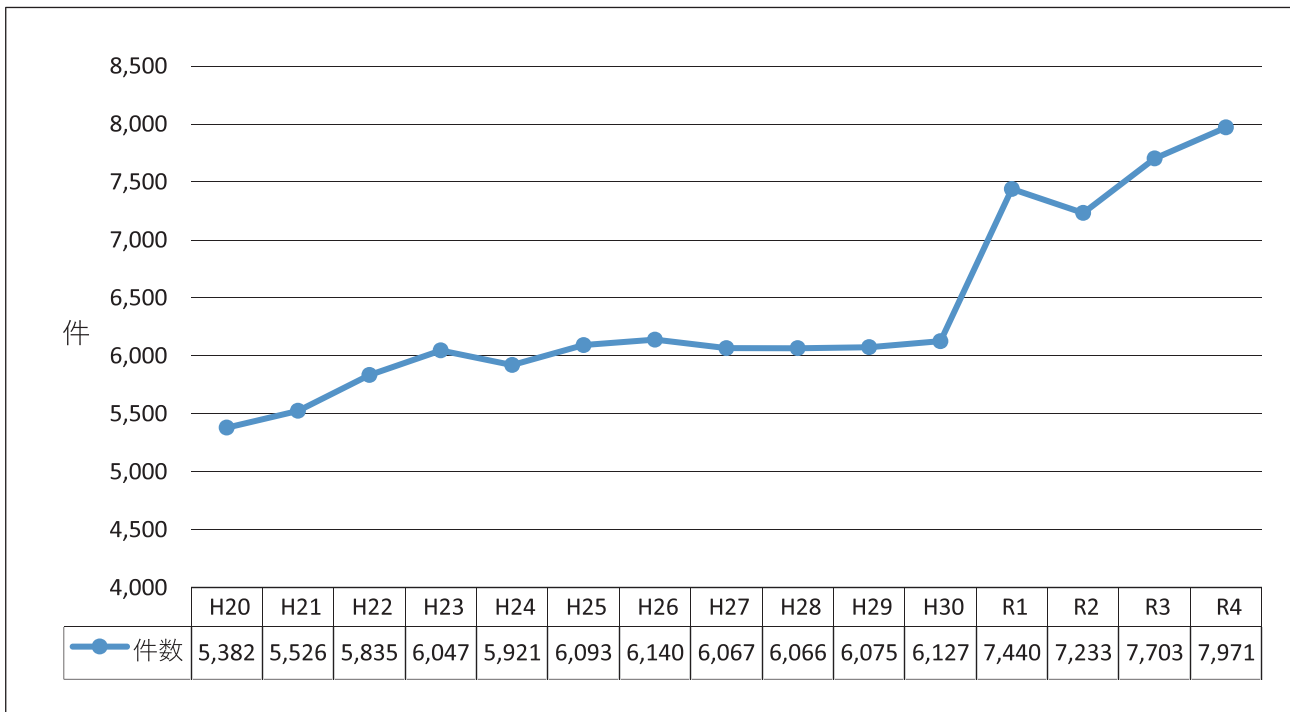


図5 受付件数の推移



養護相談の理由別対応状況（虐待）

令和4年度の養護相談の理由別処理件数は、巻末の福祉行政報告例（第49表）に記載。

その養護相談（理由別）のうち、虐待相談の経路・虐待者・被虐待者の年齢・相談種別処理については次のとおりである。

表2 虐待相談の経路

対応件数

種別 センター別	都道府県	市町村	児童福祉施設等	警察等	保健所・医療機関	学校等	家族		親戚	近隣・知人	児童本人	その他	計
							虐待者本人	虐待者以外					
中央	33	218	9	463	23	221	19	49	9	138	18	23	1,223
西濃	20	42	2	124	6	117	32	34	0	60	18	12	467
中濃	18	105	12	177	9	148	12	26	0	59	8	14	588
東濃	18	33	6	113	5	45	15	16	3	22	10	0	286
飛騨	6	8	3	55	4	16	0	15	0	6	3	4	120
計	95	406	32	932	47	547	78	140	12	285	57	53	2,684

表3 虐待相談の主な虐待者

対応件数

種別 センター別	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	計
中央	477	109	571	17	49	1,223
西濃	201	33	210	7	16	467
中濃	244	54	247	6	37	588
東濃	133	11	118	1	23	286
飛騨	67	4	49	0	0	120
計	1,122	211	1,195	31	125	2,684

図6 被虐待児の年齢・相談種別（年齢区分下の数字は各区分の総件数）

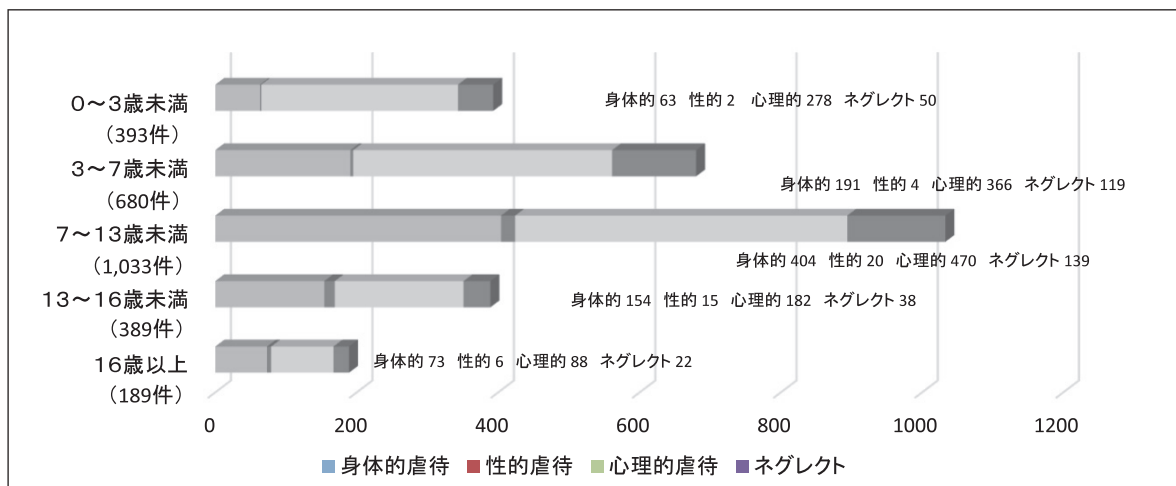


表4 虐待相談の対応

施設入所						里親委託	面接指導 (助言指導、継続指導等)	児童福祉司指導	その他	合計
	児童養護施設	乳児院	児童自立支援施設	児童心理治療施設	その他					
45	31	2	0	8	4	6	2,522	32	79	2,684

表5 虐待相談の対応件数の推移

年度		H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国		133,778	159,838	193,780	205,044	207,660	(速報値) 219,170
	岐 阜 県	1,095	1,405	2,280	2,268	2,390	2,684
内 訳	中 央	397	605	1,022	1,051	1,046	1,223
	西 濃	189	218	387	347	400	467
	中 濃	231	274	475	481	537	588
	東 濃	193	202	286	282	285	286
	飛 騨	85	106	110	107	122	120

図7 虐待相談の対応件数の推移（岐阜県）

